

東近江市成人式 盛大に挙行

東近江市では、本年度、男性619人、女性575人の計1,194人が20歳を迎えます。1月10日(日)には東近江市成人式を執り行い、八日市文化芸術会館で記念式典が、市内7地区で二十歳のつどいが行われました。晴れの日の衣装を身にまとい、夢と希望を胸に羽ばたく新成人の姿に迫ります。



はたちのきもち

春が来た ははたけはたち 一丸に
 堅名 諒さん(山上町)

(阪神淡路大震災の年に生まれ、東日本大震災の年に中学を卒業した私たちが)今、この年を無事に迎えられることに感謝。

西尾 美希さん(山上町)

今まで家族に支えられて過ごしてきた。これからは私が支えるよ! 頑張っておじいちゃん、おばあちゃん!
 西村 莉奈さん(中羽田町)

人の心を動かせるような人間になりたい。
 塩 健一郎さん(聖和町)

大人になるにつれ、人生の厳しさが見えてきました。覚悟を決め、くじけぬように歩んでいきます。
 橋 歩さん(尻無町)

720グラムという小ささで生まれ、色々な人に助けられて、20歳の成人式を迎えることができたので、感謝し、大人になっていきたい。
 森川 智名さん(寺町)

成人式実行委員会では、「ひとことはたちの思い」と題したメッセージを新成人に募りました。これまでの感謝の思い、大人となった責任感、将来の夢、色んな気持ちが集まった104点のメッセージから、その一部を紹介します。

①	④	⑤	⑨	⑬	⑮
	②	⑥	⑩	⑫	⑯
	③	⑦	⑧	⑭	⑰

①②③記念式典の会場の八日市文化芸術会館前で、旧交を深める ④⑤式が迫り、新成人がぞくぞく入場 ⑥祝辞に耳を傾ける ⑦オープニングを飾った「びわこ学院大学 和太鼓部」の演奏 ⑧小椋正清市長が新成人にエールを贈る ⑨ひとこと～はたちの思い～

を発表 ⑩⑪⑫新成人の手で製作された20畳敷東近江大凧。伴じもんは「縁を結ぼう」。大空高く舞う凧に夢や希望を込めて ⑬⑭⑮⑯地区別に行われた「二十歳のつどい」 ⑰お世話になった小中学校の先生へ、感謝の思いを伝える

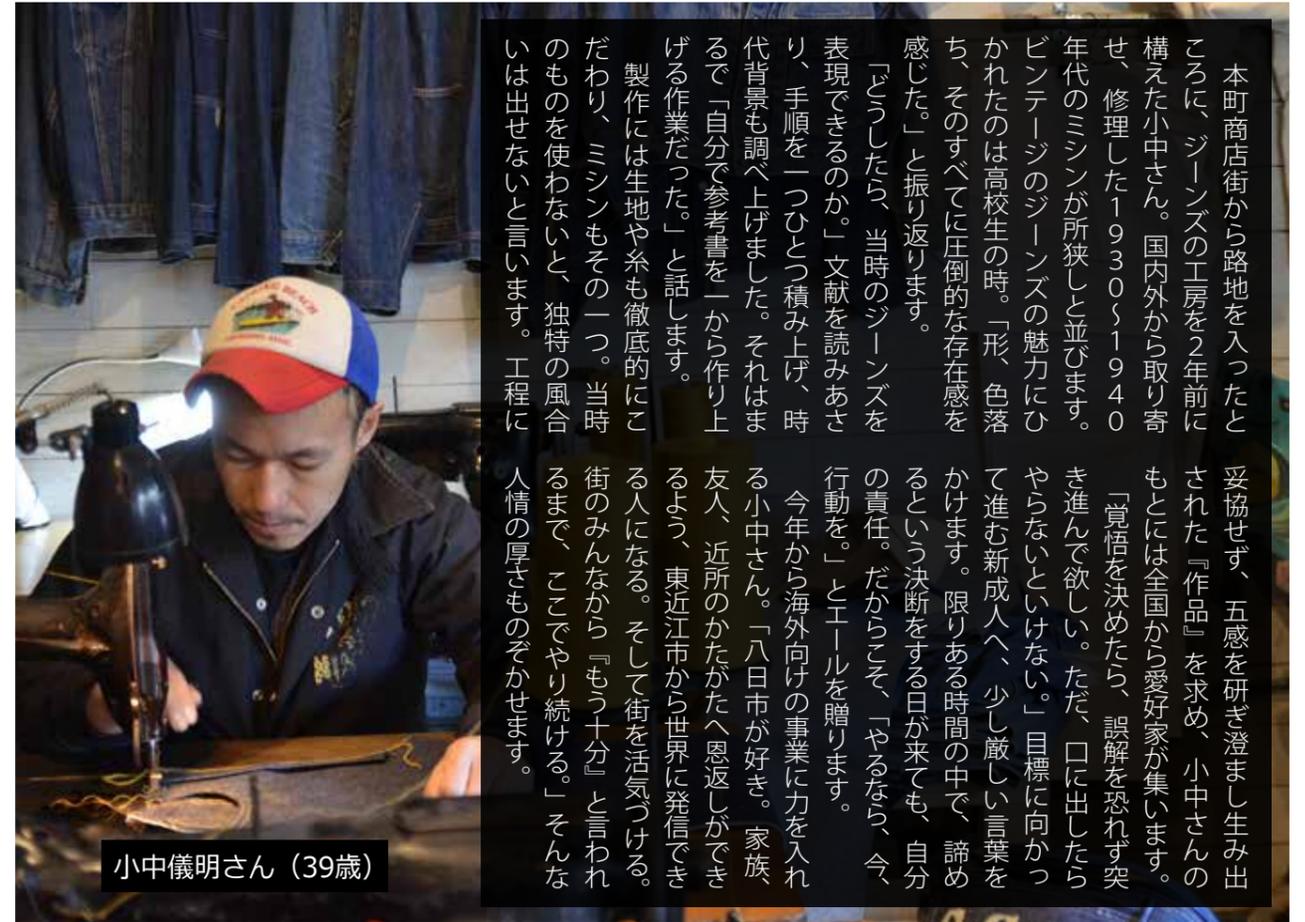


夢 目標 思い

新成人1,194人それぞれに、それぞれの希望を抱えています。そして、新成人に限らず、いくつになっても、どんな場所や環境にいても、夢や目標を持ち、前へ進むことができます。

新成人にエールを、自分にエールを。そして、夢と希望にあふれるまちへ。

Good Luck !



小中儀明さん (39歳)

本町商店街から路地を入ったところに、ジーンズの工房を2年前に構えた小中さん。国内外から取り寄せ、修理した1930〜1940年代のミシンが所狭しと並びます。ビンテージのジーンズの魅力にひかれたのは高校生の時。「形、色落ち、そのすべてに圧倒的な存在感を感じた。」と振り返ります。

「いつしたら、当時のジーンズを表現できるのか。」文献を読みあさり、手順を一つひとつ積み上げ、時代背景も調べ上げました。それはまるで「自分で参考書を一から作り上げる作業だった。」と話します。

製作には生地や糸も徹底的にこだわり、ミシンもその一つ。当時のものを使わないと、独特の風合いは出せないと言います。工程に妥協せず、五感を研ぎ澄まし生み出された『作品』を求め、小中さんのもとは全国から愛好家が集います。「覚悟を決めたら、誤解を恐れず突き進んで欲しい。ただ、口に出したらやらないといけない。」目標に向かって進む新成人へ、少し厳しい言葉をかけます。限りある時間の中で、諦めるという決断をする日が来ても、自分の責任。だからこそ、「やるなら、今、行動を。」とエールを贈ります。

今年から海外向けの事業に力を入れる小中さん。「八日市が好き。家族友人、近所のかたがたへ恩返しができるよう、東近江市から世界に発信できる人になる。そして街を活気づける。街のみんなから『もう十分』と言われるまで、ここでやり続ける。'そんな人情の厚さもぞかせます。'



片山恵美さん (32歳)

「自然の中で体を動かし、汗をかき気持ちよさにひかれました。」能登川地区の織山に抱かれた農地で45品種もの野菜や穀物を栽培する片山さん。オレンジ色の白菜、緑や赤色の大根、桃みたくに甘いピーチかぶなど、ユニークな食材も育てています。「このかぶ、皮が手でむけるんですよ!」自分が食べてみたいと思ったものを、おいしいと感じたものを、多くの人に食べて欲しい。そんな素直な思いを形にしています。

片山さんの転機は5年前。両親の農作業を手伝う中で「面白い。」と感じ、転職しました。当初は一人で農業と加工品の製造に取り組みますが、体力的に厳しく悩みます。そんな中、「色んな考えを知りたい。」との思いで会社の社長など異業種の専門家との交流を深めました。新しい気づきの中から、相手が求める野菜は何かを考え、「私は本当においしい野菜しか作らない。」と心に決めました。

大切に育てた野菜は、これまで培ってきた幅広い人脈で、飲食店や直売所に直接販売しています。また、大豆の豆まきから始める味噌作り体験を催すなど、新しい経験や人間関係も築かれています。前へ、前へと進む片山さんは、新成人に「失敗を恐れなくて欲しい。」と話します。「挑戦してダメでも、得るもの、感じることは必ずある。他人の目を気にする気持ちを持たないで。」と優しく背中を押します。